

港区国際化に関する 実態調査報告書

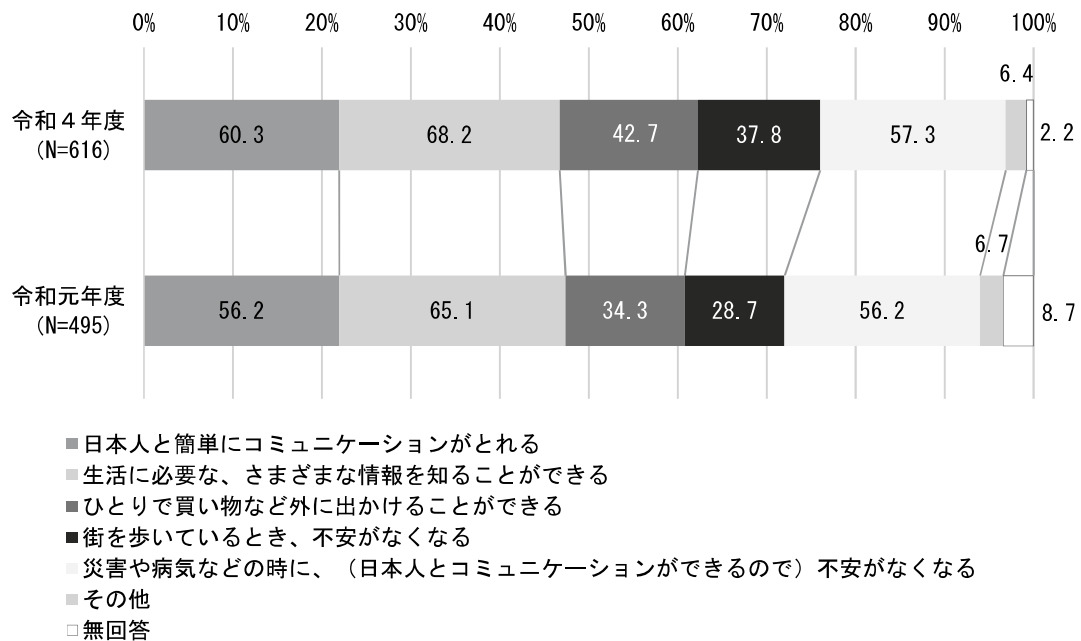
令和5（2023）年3月

港 区

調査結果のポイント

Point 1 「やさしい日本語」(※) を使うことのメリットは情報の収集と日本人とのコミュニケーション (問4-2)

「生活に必要な、さまざまな情報を知ることができる」が68.2%と最も多く、ついで「日本人と簡単にコミュニケーションがとれる」が60.3%、「災害や病気などの時に、(日本人とコミュニケーションができるので) 不安がなくなる」が57.3%となっています。

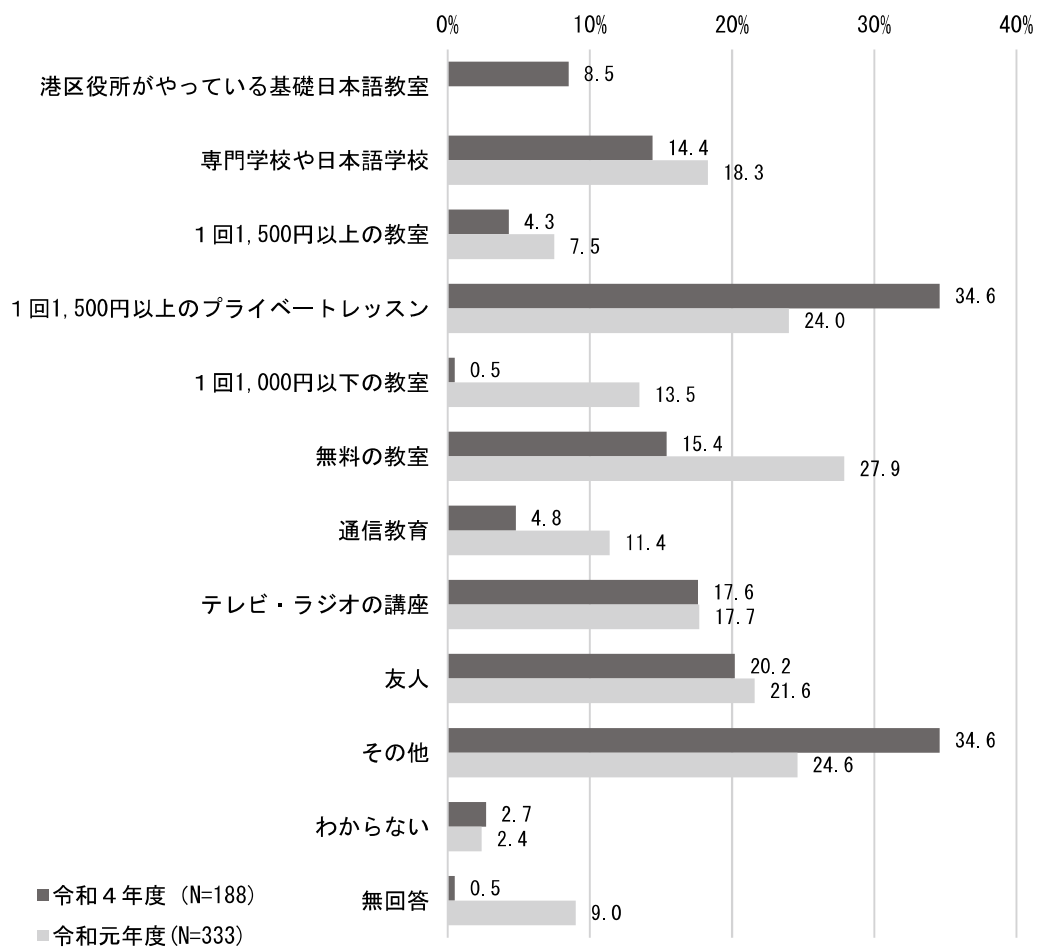


※「やさしい日本語」とは、外国人にもわかりやすく表現した日本語のことです。

Point 2 日本語の学習方法は「1回1,500円以上のプライベートレッスン」、「その他」が多く、自分のペースで行いたい人が多い（問8-2）

「1回1,500円以上のプライベートレッスン」、「その他」が34.6%と最も多く、ついで「友人」が20.2%、「テレビ・ラジオの講座」が17.6%となっています。

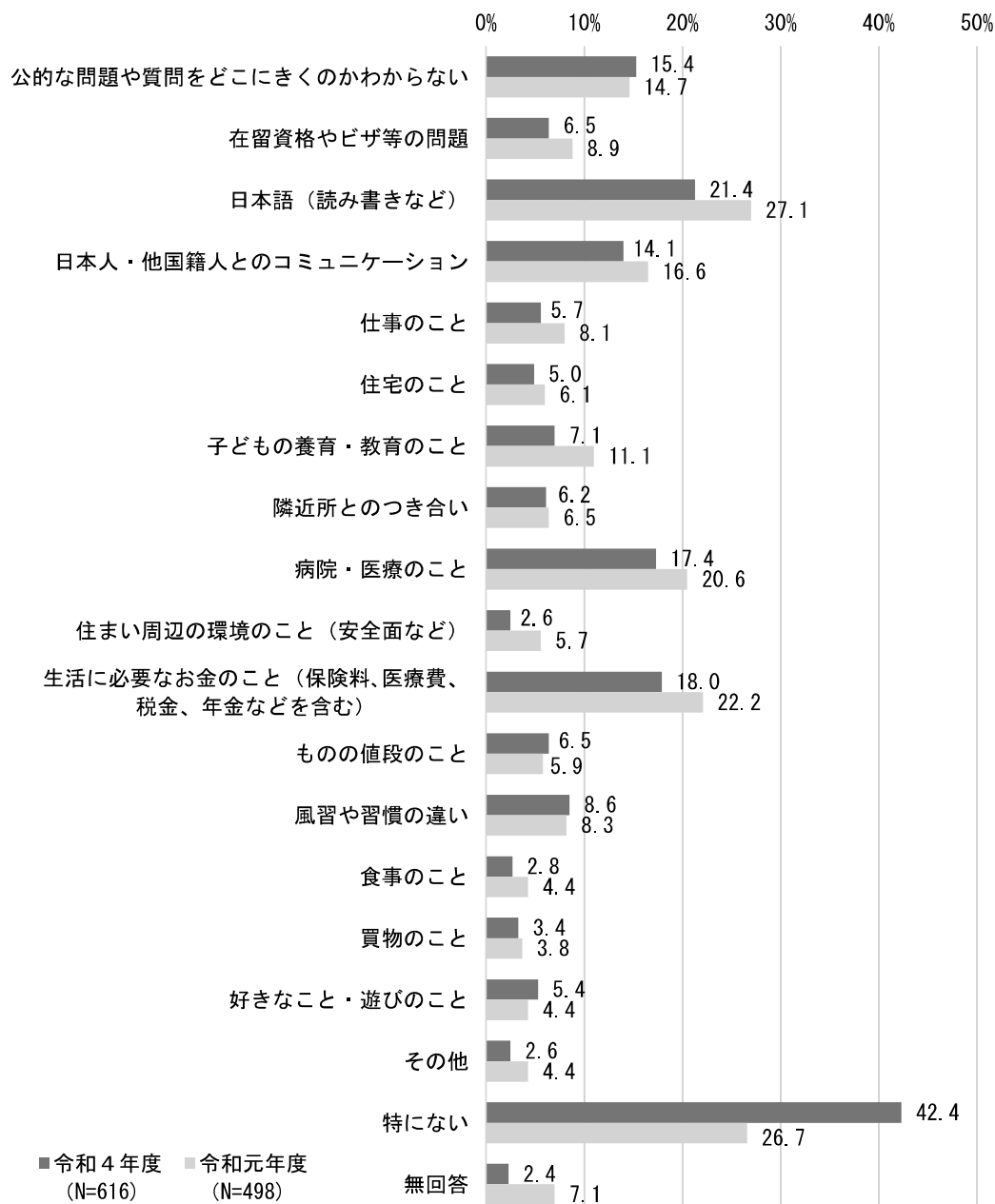
「1,500円以上のプライベートレッスン」を3割台半ば以上の方が受講しており、同率「その他」の内訳も、独学、インターネット、アプリ利用が半数以上を占め、日本語習得は自分のペースでと望まれる外国人の方が多く傾向がみられます。



Point 3 日常生活の中で困っていることは、「日本語の読み書き」と答えた人が前回と同様に最も多く、ほとんどの項目が減少（問 14）

「特にない」が42.4%と最も多く、前回の調査から15.7ポイント増加しており、日常生活の困りごとが減少しています。ついで、「日本語（読み書きなど）」が21.4%、「生活に必要な金のこと（保険料、医療費、税金、年金などを含む）」が18.0%、「病院・医療のこと」が17.4%となっています。

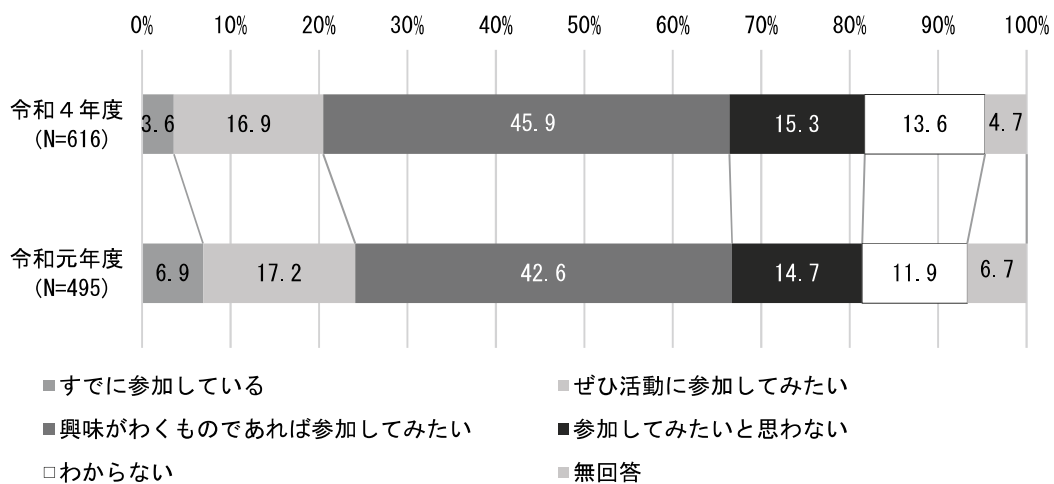
前回調査との比較では、ほとんどの項目が減少しています。



Point 4 地域の活動への参加意向は6割を超えている（問17）

「興味がわくものであれば参加してみたい」が45.9%と最も多く、ついで「ぜひ活動に参加してみたい」が16.9%となっています。

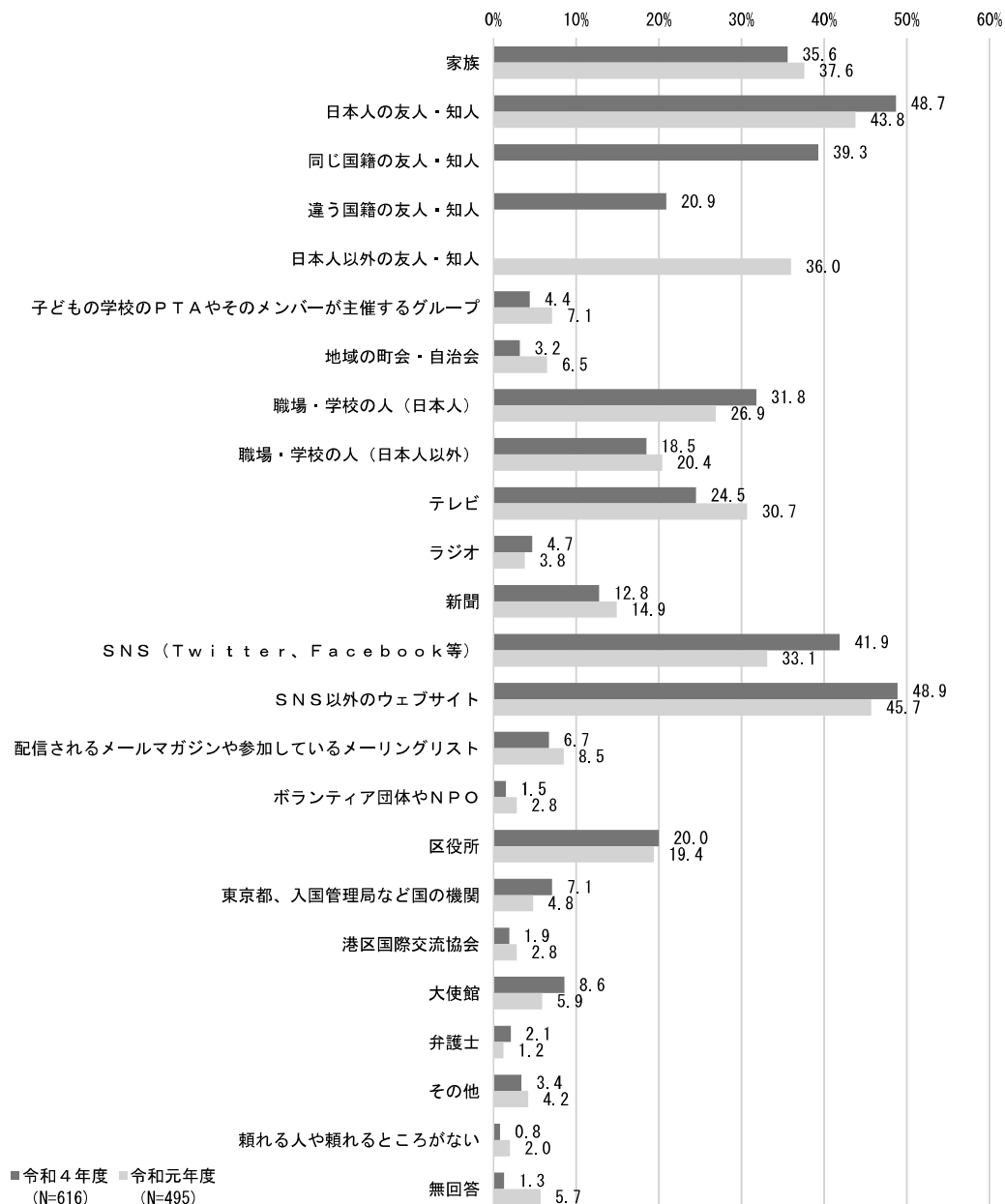
前回調査との比較では「すでに参加している」が3.3ポイント減少し、「参加したい」という主旨の回答は合わせて62.8%（今回調査）となり、3ポイント増加しています。



Point 5 日頃の情報の入手先は「SNS 以外のウェブサイト」が最も多く 48.9%。「SNS (Twitter、Facebook 等)」は前回調査時より 8.8 ポイント増加 (問 19)

日頃、情報を集めようとする時の主な入手先は「SNS 以外のウェブサイト」が 48.9%、「日本人の友人・知人」が 48.7%、「SNS (Twitter、Facebook 等)」が 41.9%となっています。

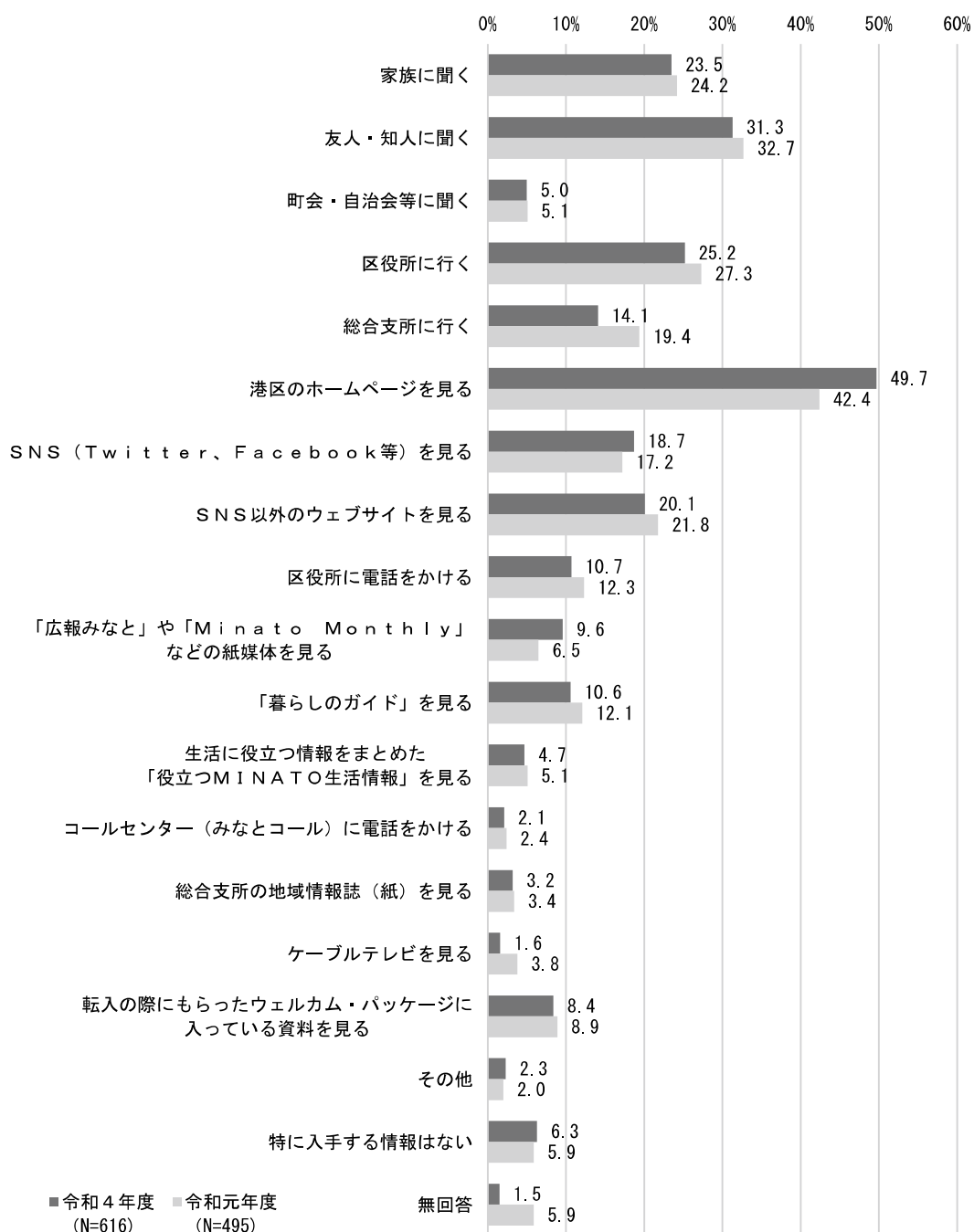
「区役所」が 20.0% (今回調査) と前回調査時と比較して 0.6 ポイント増加し、「テレビ」、「新聞」が、前回調査と比較して減少、「SNS 以外のウェブサイト」、「SNS (Twitter、Facebook 等)」が増加しています。



Point 6 区の行政サービスや暮らしの情報などの入手方法は「港区のホームページを見る」が49.7%（問33）

区の行政サービスや暮らしの情報などの入手方法は「港区のホームページを見る」が49.7%と最も多く、ついで「友人・知人に聞く」が31.3%となっています。

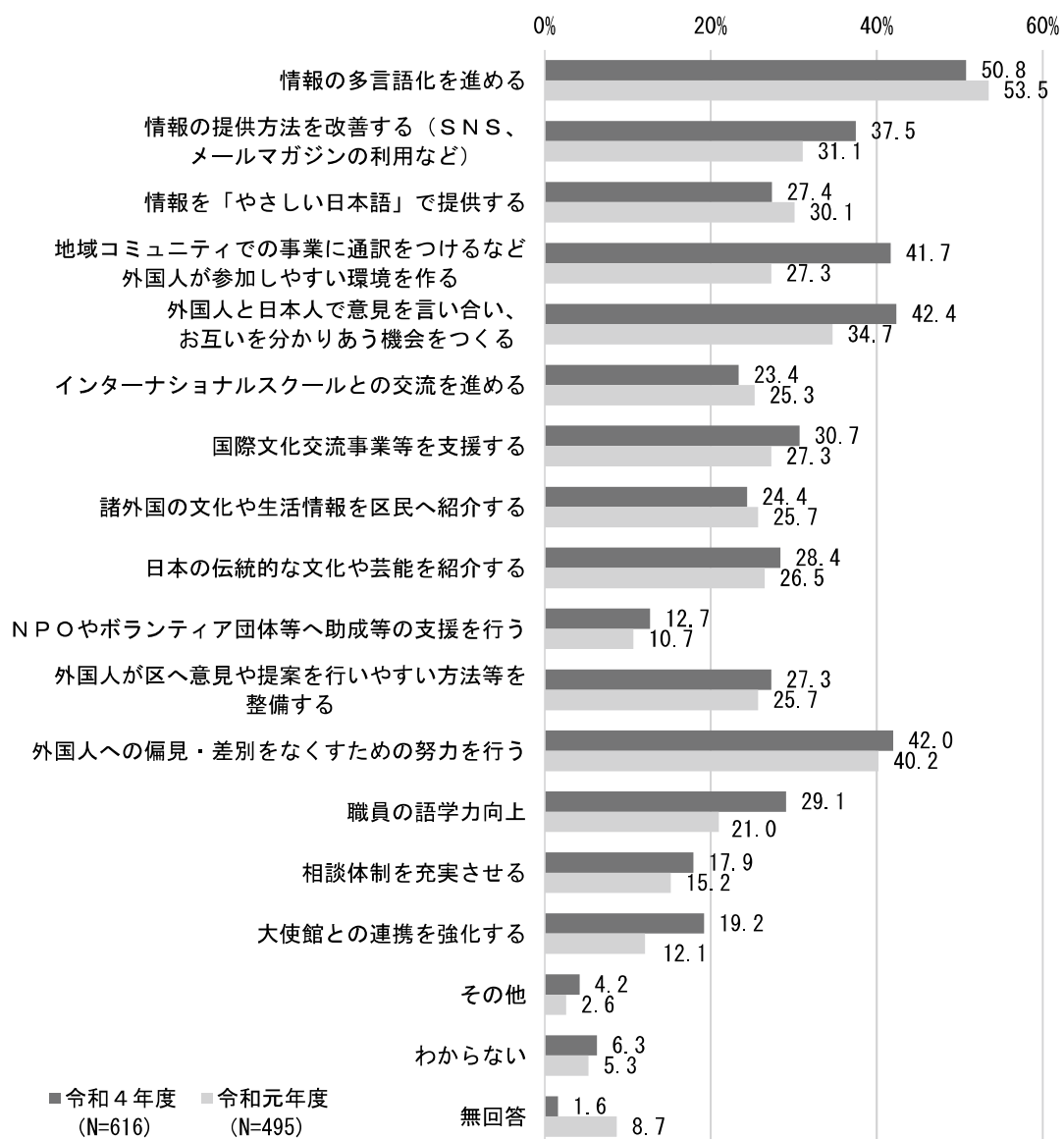
前回調査より「港区のホームページを見る」が7ポイント以上増えており、外国人にとっての大切な情報源となっています。



Point 7 外国人と日本人がともに豊かな地域社会を上げるために必要な区の実施策として、「情報の多言語化」を求める人が最も多く5割（問41）

全ての外国人と日本人がともに考え、支え合いながら、豊かな地域社会を上げるために必要なことについては「情報の多言語化を進める」が50.8%と最も多く、ついで「外国人と日本人で意見を言い合い、お互いを分かりあう機会をつくる」が42.4%、「外国人への偏見・差別をなくすための努力を行う」が42.0%となっています。

前回調査と比較すると、「地域コミュニティでの事業に通訳をつけるなど外国人が参加しやすい環境を作る」が14.4ポイント増えています。



目次

第1章 実態調査の概要	13
1 調査の目的	15
2 調査の概要	15
3 報告書の見方	16
4 標本誤差について	17
第2章 調査の結果	19
1 あなたについて	21
2 ことばについて	36
問1 あなたは、英語がどのくらいできますか。	36
問2 あなたは、日本語がどのくらいできますか。	39
日本語の能力（聞く）	39
日本語の能力（話す）	40
日本語の能力（読む）	41
日本語の能力（書く）	42
問3 あなたは、区役所から届く日本語の手紙の内容はわかりますか。	51
問4 区役所では、外国人にもわかりやすく表現した「やさしい日本語」（例えば土足厳禁を、くつをぬいでください。と表現すること。）の取組を進めています。あなたは「やさしい日本語」を知っていますか。	54
問4-2 「やさしい日本語」を使うとどのようなメリットがあると思いますか。	57
問5 あなたは「やさしい日本語」を使って日本人と交流したり、情報を入手することを希望しますか。	60
問6 あなたが暮らす地域で「やさしい日本語」を使った交流はありますか。	63
問7 あなたは、日本語を使った地域の日本人との交流に満足していますか。	66
問8 あなたは日本語を学んでいますか。	68
問8-2 どのような方法で日本語を学んでいますか。または、今後、学びたいですか。	71
問9 あなたは日本語学習に満足していますか。	75
問10 あなたは日本語の勉強を始めてから、どのようなことができるようになりましたか。	78
問11 今後、日本語を学びたいですか。	81
問11-2 日本語を学びたくない理由は何ですか。	84

問 12	あなたが日本語教室を探すときの条件は何ですか。.....	87
問 13	あなたは日本語教室で、日本語を学ぶことのほかに、どのようなことを期待 しますか。.....	90
3	日常生活の問題とコミュニティ活動について	93
問 14	あなたは生活の中で不便を感じていることや困っていることはありますか。	93
問 14-2	具体的にどのようなことですか。.....	97
問 14-3	どのように解決しましたか。.....	99
問 14-4	あなたには、不便を感じていることや困ったことなどを相談できたり、助 けてくれたりする人がいますか。それは誰ですか。.....	101
問 15	職場や学校から、日本で生活する上でどのようなサポートを受けていま すか。.....	105
問 16	あなたは地域のコミュニティやグループに参加していますか。.....	108
問 16-2	あなたが参加しているコミュニティまたはグループはどのようなもので すか。.....	111
問 17	あなたは地域の活動やまちづくりの活動に参加してみたいと思いますか。	116
問 17-2	あなたが参加している活動は次のうちどれですか。.....	120
問 17-3	あなたが参加してみたい活動は次のうちどれですか。.....	125
問 18	あなたが地域での活動を行うとき、どのようなサポートが必要だと思います か。.....	130
問 19	あなたはいつも、情報を集めようとするとき、どのようなところから情報を 入手しますか。.....	133
4	災害に強い街づくりについて	137
問 20	あなたは、地震などの災害が起きた時のためにどのような準備をしています か。.....	137
問 21	災害が起きた時は、地域の人と協力しながら助け合います。災害が起きた 時、あなたは、港区にどのような対策を望みますか。.....	142
問 22	地震などの災害が起きた時、あなたはどのようなことに困ると思いますか。	147
問 23	あなたは、地域でどんな防災訓練があれば参加したいと思いますか。....	152
5	教育について（子どもといっしょに住んでいる人のみ）	155
問 24	あなたの子どもが今行っている保育園、幼稚園、小学校、中学校について答 えてください。.....	155
問 25	あなたの子どもが今行っている保育園、幼稚園、小学校、中学校の生活で困 っていることはありますか。.....	160
問 26	あなたの子どもが今行っている保育園、幼稚園、小学校、中学校に望むこと はありますか。.....	164

問 27	あなたは保護者として、どのようなことに困っていますか。.....	170
6	医療について	173
問 28	あなたが、日本の病院に行く時に、不便に思ったことや困ったことはありま すか。	173
7	港区について	178
問 29	あなたにとって港区は住みやすいところですか。.....	178
問 30	あなたは、港区の行政サービスにどの程度満足していますか。.....	181
問 31	あなたは、区のどのような行政サービスが充実していると思いますか。 また、区のどのような行政サービスが足りないと思いますか。	184
問 31-2	問 31 で選んだ足りない行政サービスについて具体的に何が足りないか答 えてください。	185
8	情報発信について	186
問 32	あなたは区政や暮らしの情報について、どのようなことを知りたいですか。	186
問 33	あなたは、港区の行政サービスや暮らしの情報などを知りたいとき、どのよ うに情報を入手しますか。	188
問 34	あなたは港区から必要とする十分な情報が的確に提供されていると思いま すか。	190
問 35	あなたは港区のホームページで知りたい情報を探したり、見たりすることが できていますか。	193
問 35-2	あなたはどのようなホームページであれば情報を探したり、見たりするこ とができますか。	193
問 36	あなたはどの SNS を使っていますか。	194
問 37	あなたは国際化推進系の Facebook ページ“Minato Information Board”を見た ことがありますか。	195
問 38	あなたは“Minato Information Board”をより多くの人に見てもらうためにどの ようなことが必要だと思いますか。	196
問 39	あなたは「やさしい日本語」で発信された港区の情報を見たことがあります か。	197
問 39-2	あなたはその情報をどこで入手しましたか。.....	199
問 40	現在、港区では、「港区行政情報多言語化ガイドライン」により、日本語、 「やさしい日本語」、英語、韓国／朝鮮語、中国語で行政情報を配信しています。 あなたは、この5言語で十分だと思えますか。	201
9	国際化推進について	202
問 41	あなたは外国人と日本人がともに考え、支え合いながら、豊かな地域社会を 作り上げるために、港区にはどのような政策が必要だと思えますか。	202
問 42	あなたは外国人と日本人がともに考え、支え合いながら、豊かな地域社会を 作り上げるために、あなた自身ができると思うことは何ですか。	204

問 43	港区は、高輪ゲートウェイ駅の近くにいろんな人が集まってイベントや交流 ができる国際・文化交流拠点を作る予定です。いろんな人に使ってもらうために はどのような工夫が必要だと思いますか。	209
問 44	港区が国際化を進めるときのパートナーの1つは、港区国際交流協会です。 港区国際交流協会は、生活する上での相談や外国人支援、国際交流に関する取組 をえています。あなたは、港区国際交流協会を知っていますか。	210
10	区政全般について	211
問 45	港区の区政について、あなたが思っていることを自由に書いてください。	211
第3章	インタビュー調査のまとめ	1
第4章	調査票	223

第1章 実態調査の概要

第1章 実態調査の概要

1 調査の目的

区内在住外国人の実態を把握し、多様な文化と人が共存する活力と魅力あふれる成熟した「国際都市・港区」の実現に向けた施策展開の資料とします。また、令和5（2023）年度に改定する「港区国際化推進プラン」の基礎資料とします。

2 調査の概要

2-1 調査の設計

- (1) 調査地域 港区全域
- (2) 調査対象 令和4年7月29日現在、港区に住民登録している外国人のうち20歳以上の人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 標本抽出 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法（郵送配付－郵送回答）、インターネット回答
- (6) 調査期間 令和4年9月13日から10月11日まで

2-2 調査の内容

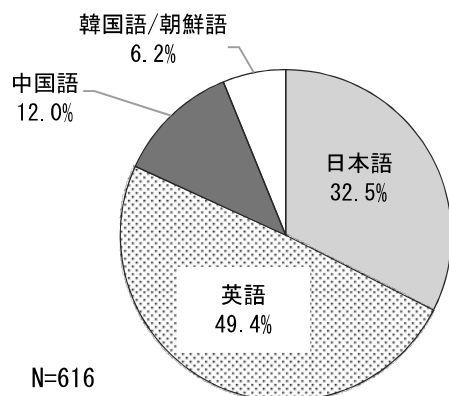
- (1) あなたについて
- (2) ことばについて
- (3) 日常生活の問題とコミュニティ活動について
- (4) 災害に強い街づくりについて
- (5) 教育について
- (6) 医療について
- (7) 港区について
- (8) 情報発信について
- (9) 国際化推進について
- (10) 区政全般について（自由意見）

2-3 回収状況

標本数	3,000件
有効回収数	616件
有効回収率（有効回収数／標本数*100）	20.5%

2-4 回収調査票言語

調査票の言語は、英語が49.4%と最も多く、ついで日本語の32.5%となっています。



調査票の言語	件数	%
日本語	200	32.5
英語	304	49.4
中国語	74	12.0
韓国語/朝鮮語	38	6.2
無回答	0	0.0

3 報告書の見方

- (1) 集計は、小数第二位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 「サンプル数」は、設問に対する回答者の数です。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化しています。
- (5) 分析の軸(=表側)とした調査回答者の属性(国籍または出身地域、日本での在住年数別など)は、無回答を掲載していないため、各調査回答者のサンプル数の合計が全体と一致しない場合があります。
- (6) 分析の軸(=表側)とした調査回答者の属性(国籍または出身地域、日本での在住年数別など)で基数が少ないもの(30人未満)は、標本誤差が大きくなるため、参考として図示していますが、分析対象からは除いています。
- (7) 統計数値を考察するにあたっては、表現をおおむね以下のとおりとしています。

例	表現
17.0~19.9%	約2割
20.0~20.9%	2割
21.0~22.9%	2割を超える
23.0~26.9%	2割台半ば
27.0~29.9%	約3割

- (8) 複数回答の設問におけるクロス集計の分析については、図表のタイトルに(上位6項目)などと書き添えてあるものもあります。その場合、「その他」や「無回答」などは項目数として含めずに数えています。
- (9) 表の凡例 ■ 表側・縦軸項目の最上位回答、■ 表側・縦軸項目の第二位回答

4 標本誤差について

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数（n、回答者数）、回答の比率（p）によって誤差幅が異なります。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 1.96$$

N：母集団（港区の外国人登録者数）
 n：サンプル数（有効回収数）
 p：回答比率（1つの選択肢に対して得られた回答者の割合）
 1.96：信頼率 95%と設定した場合の定数（調査の母集団に同じ設問をしても、統計学的には95%の確率で同じ回答が得られるというもの）

したがって、今回調査の母集団 18,477 名（令和4年7月末現在国籍別外国人住民数（港区HP）、配付3,000件、回収616件により信頼度95%を担保しているものとなります。

n \ 回答比率 (p)	90%または10%程度		80%または20%程度		70%または30%程度		60%または40%程度		50%程度	
	616	±2.33%	±3.11%	±3.56%	±3.81%	±3.98%				
300	±3.37%	±4.49%	±5.15%	±5.5%	±5.62%					
100	±5.87%	±7.82%	±8.96%	±9.58%	±9.78%					
50	±8.31%	±11.07%	±12.69%	±13.56%	±13.84%					

※この表の見方

標本誤差とは、全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをさします。この誤差は標本の抽出方法や標本数によって異なりますが、この計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが上記の表です。見方としては例えば、「ある問の回答者数が616人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最大でも±3.81%以内（56.19～63.81%）である」とみることができます。

